

飲食

油脂性物質を内包できるパール状カプセル

発明の名称	パール状カプセル及びその製造方法		
出願人/権利人	株式会社三粧化研	発明者	堤 響、 畠中 克人
出願日	平成27年8月21日	出願番号	2015-164252
公開番号	2017-38581	特許番号	6697796
法的状態	登録中		

代表図(図面なし)

【請求項1】

液滴の外表面がアルギン酸塩の水不溶性被膜で被覆され、さらにその外表面をグリセリンからなる被膜で被覆された構造を有するパール状カプセルであって、
 該液滴が水溶性高分子、油脂性物質、水溶性多価金属塩、酒粕、デンプン、を含み、
 前記液滴全体に対して、前記酒粕が1～10重量%及び、
 片栗粉、米デンプン及び馬鈴薯デンプンの少なくともいずれか1つから選ばれる前記デンプンが10～20重量%の割合で含まれることを特徴とする、パール状カプセル。

発明の概要

輸送や保存に便利で、多量の油脂性物質を内包できるパール状カプセル

特徴

多量の油脂性物質を包含できるパール状カプセルで、液滴の外表面をアルギン酸塩の水不溶性被膜で被覆し、さらに外表面をグリセリンの被膜で被覆する。凍結融解後も変形せず形状を維持できるため、凍結した状態で輸送、または低温で保存した後に使用できる。このパール状カプセルは、副食として食するか、手巻き寿司、米飯、パン、ビスケット、ケーキ、サラダなどの上に置いて食べられる。また、ペットや飼育動物の餌としても用いられる。さらに、菓子、アイスクリーム添加物、医薬類カプセル、栄養剤類カプセル化粧品カプセルとしても最適である。

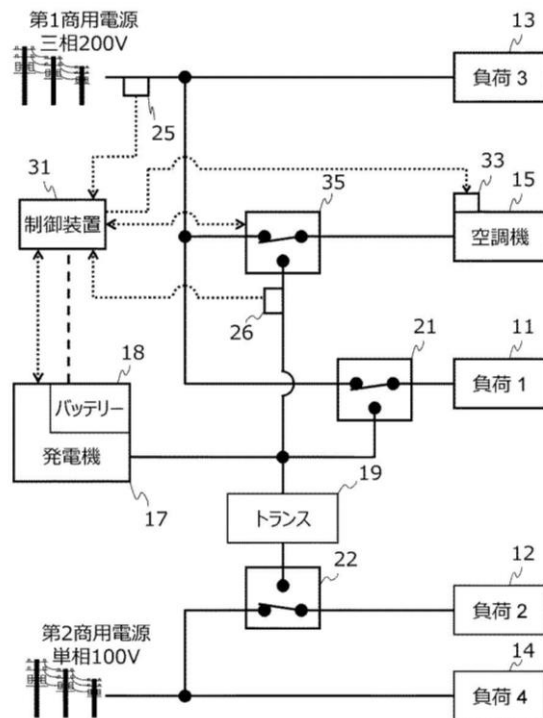
関連分野

医薬、ケミカル

発明の名称	電力供給システム、電源切替方法、及びデマンド制御装置		
出願人/権利人	株式会社シーエープラント	発明者	谷 吉廣
出願日	平成29年2月21日	出願番号	2017-029691
公開番号	2018-137860	特許番号	6692098
法的状態	登録中		

代表図

- 11 第1負荷
- 12 第2負荷
- 13 第3負荷
- 14 第4負荷
- 15 空調機
- 17 発電機
- 18 バッテリー
- 19 トランス
- 21 第1切替器
- 22 第2切替器
- 25 第1電力量検知部
- 26 第2電力量検知部
- 31 デマンド制御装置
- 33 空調機制御装置
- 35 高速切替器



発明の概要

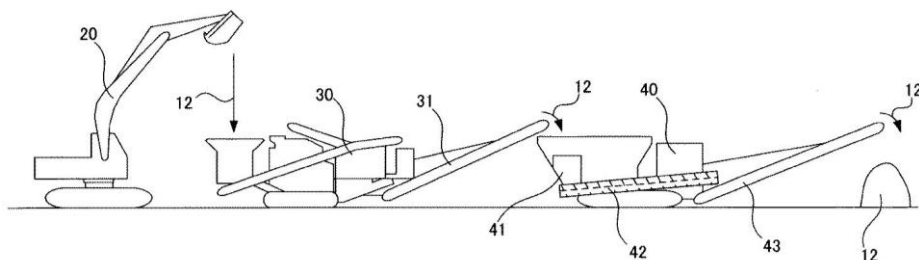
非常用の電力供給装置を有効に活用する電力供給システム

特徴

商用電源からの電力供給が停止した際、負荷の少なくとも一部に電力供給を行う非常用の電源(電力供給装置)である。電力量が多い場合に、電力消費が多い負荷への電力供給を行う電源としても用いられる。非常用の電力供給装置を有効に活用でき、さらにデマンド制御装置を用いることで、商用電源から負荷に供給される電力消費量の30分間平均値(需要電力)が電力量閾値を超えないように、電力デマンドを制御できる。第1電源切替工程は、切替を行う前後で使用される電源の波形が同期した状態で電源の切替が行われるため、空調機において突入電流や瞬断を生じさせず切替えられる。

発明の名称	凝集粒化活性材及びそれを用いた土壌改良方法		
出願人/権利人	株式会社ソイルリサイクル工業	発明者	青野 幸三
出願日	平成30年10月30日	出願番号	2018-203909
公開番号	2020-70321	特許番号	—
法的状態	出願中		

代表図



12 表層土 20 ショベルカー 30 粉砕 31 篩機(ふるい機)
40 混合・戻し機 41 パケット 42 混合部 43 コンベア

発明の概要

粒状化を促進させる凝集粒化活性材と、それを用いて土壌の搬出、搬入を極力抑えた土壌改良方法

特徴

凝集粒化活性材は、土壌に有害にはならない酸化マグネシウム及び酸化カルシウムを主成分として含む粉末から構成される。成分はアルカリ性なので、土壌との混合の際に攪拌機などの金属部分を腐食させない。土壌に散布して土壌と攪拌することで、粘性シルト土を凝集して団粒化できる。これにより、水捌けの悪い粘土性の土で覆われていた土壌を、透水性に優れた水捌けのよい土壌に改良できる。さらに、酸化マグネシウムと酸化カルシウムにより、土壌中に含まれる第二種特定有害物質を吸収して不溶化でき、土壌の無害化を達成できる。また、土壌の搬出、搬入を極力抑えられる。

発明の名称	セシウムイオンドープ酸化タングステンを含有するインクジェット用赤外線遮蔽インク組成物およびその製造方法		
出願人/権利人	森 良平、GSアライアンス株式会社、富士色素株式会社	発明者	森 良平
出願日	平成30年11月7日	出願番号	2018-209878
公開番号	2020-75831	特許番号	—
法的状態	出願中		

代表図(図面なし)

【請求項1】

セシウムイオンドープ酸化タングステンの調製方法であって、

炭酸セシウム (Cs_2CO_3)、パラタングステン酸アンモニウム ($(\text{NH}_4)_{10}(\text{H}_2\text{W}_{12}\text{O}_{42}) \cdot 4\text{H}_2\text{O}$)、水を混合する混合工程；

上記工程で得られた混合物を、加熱還元処理して、セシウムイオンドープ酸化タングステンを調製する調製工程；

を含む、調製方法。

発明の概要

インクジェット用インクに配合した時、低粘度で高温保存での粘度変化がほぼない赤外線遮蔽材

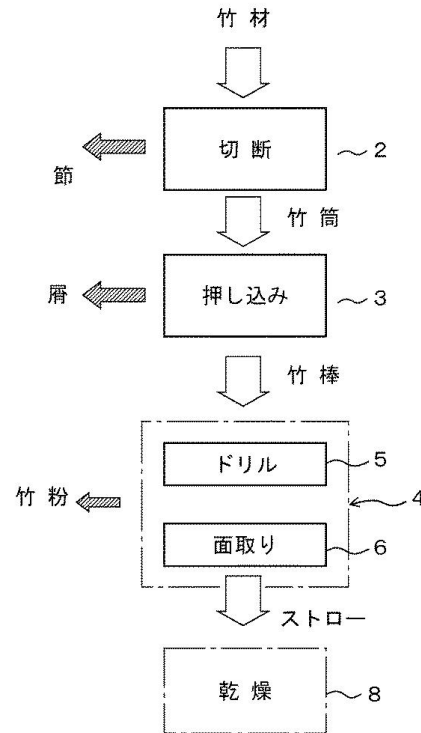
特徴

本発明は、セシウムイオンドープ酸化タングステンを含有する、赤外線遮蔽インク組成物である。特に、安定した粘度特性を有するインクジェット用インク組成物およびそのようなインク組成物に適したセシウムイオンドープ酸化タングステンである。

本発明の方法で製造したCsドープ酸化タングステン(Cs-WO)は赤外遮蔽効率、可視光領域での透過性が高く、コーティング剤、樹脂、インキなど様々な分野に適用できる。さらに、本発明の方法で製造したCs-WOを含有するインク組成物は高温下でも高い粘度安定性を示し、インクジェット用のインク組成物に好適に配合することができる。

発明の名称	竹製ストロー及びその製造方法		
出願人/権利人	ミヤビ有限会社	発明者	梅原 千晶
出願日	平成30年11月14日	出願番号	2018-213460
公開番号	2020-78483	特許番号	—
法的状態	出願中		

代表図



発明の概要

竹の繊維の方向に平行な貫通孔が孔開け加工で作られた竹製ストロー

特徴

本発明のストローには、竹の繊維の方向に平行な貫通孔が孔開け加工により設けられている。竹の薄板を丸め接着剤で貼り付けるようなものと異なり、薬剤を含まず、材料は基本的に竹のみである。また、燃やしても有害ガスを発生せず、仮に地面に捨てられてもいずれ自然分解して環境を汚染しない。材料となる竹は木材に比べ使い道が少ないが、本発明では竹材を有効利用できる。

貫通孔とその周囲の刃とを有する金型を竹材に押し込み、貫通孔から竹棒を取り出す。このようにすると、多数の竹棒を一括して製造でき、竹材を切削し竹棒を切り出す必要がない。

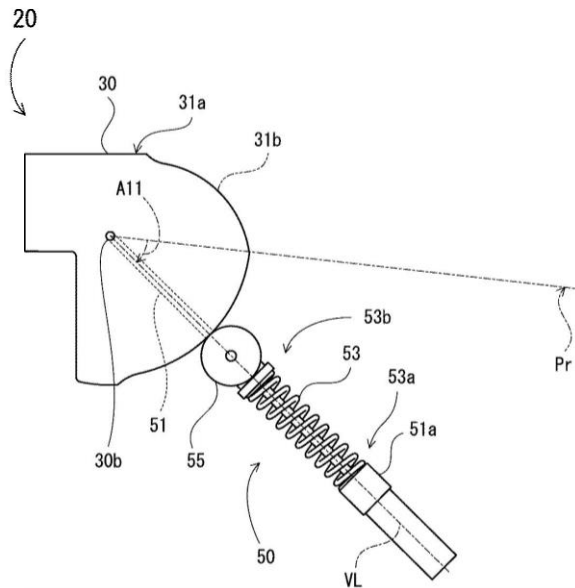
金属製品

コンパクトなトルク調整ユニットを含むサポートウェア

発明の名称	トルク調整ユニットおよびサポートウェア		
出願人/権利人	太陽パーツ株式会社	発明者	大槻 直史
出願日	令和1年7月5日	出願番号	2019-126543
公開番号	2020-69635	特許番号	6630898
法的状態	登録中		

代表図

- 20 トルク調整ユニット
 30 調整部
 30b 単一回動軸(第2回動軸)
 31a 外周
 31b ガイド部
 50 付勢部
 51 単一回動部(第2回動部)
 51a ツマミ
 53 付勢力供給部
 53a 一端
 53b 他端
 55 移動体
 A11 第1角度
 Pr 基準平面
 VL 仮想線



発明の概要

コンパクトに構成されたトルク調整ユニットとこのユニットを含むサポートウェア

特徴

付勢部および調整部を用いるだけで、単一回動部に付与される付勢力を調整できる。そのため、簡便な構成より単一回動軸を中心に働くトルクを調整できる。サポートウェアは、作業者の手首付近を把持することで、上向き作業における作業者の肉体的負担を軽減できる。サポートウェアは主として、背当部・腰ベルト・支柱・一对の肩掛ベルト・接続パイプ・トルク調整ユニット、そして把持部を有している。背当部は、装着時に使用者の背中と当接するクッション体である。使用者は、自身の腰回りのサイズに合わせて腰ベルトを調整し、サポートウェアの自重の一部を、自身の腰付近で支えられる。

関連分野

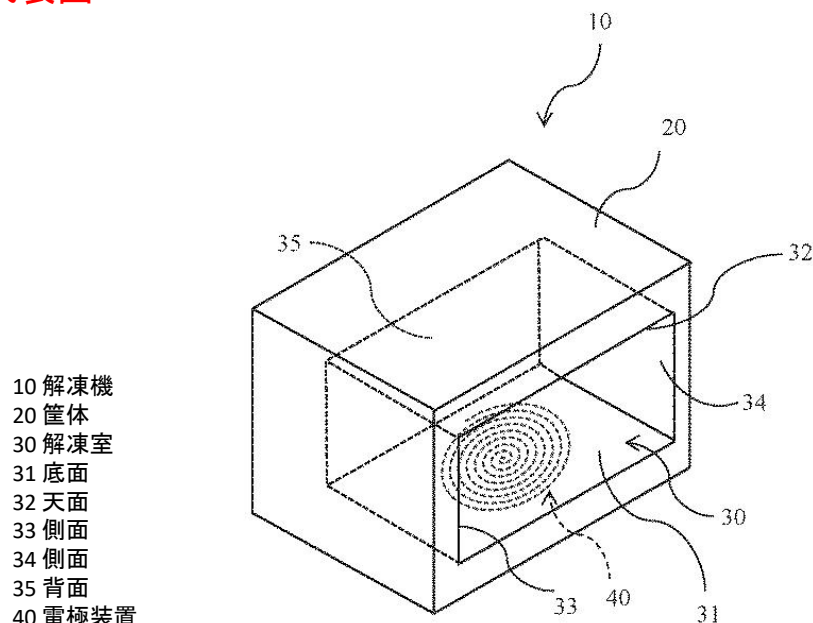
建設・土木

業務用機械

解凍機に設置できるコンパクトな電極装置

発明の名称	解凍機及び解凍機用の電極装置		
出願人/権利人	株式会社ダイレクト・アール・エフ、株式会社ネクスティ エレクトロニクス	発明者	戸谷 一幸、本間 直之、伊藤 治夫
出願日	令和1年8月26日	出願番号	2019-153342
公開番号	—	特許番号	6695559
法的状態	登録中		

代表図



発明の概要

高周波誘電加熱を利用した解凍機に設置する小型の電極装置

特徴

本発明の解凍機は、被解凍物の解凍処理が行われる解凍室、解凍室内の被解凍物へ高周波を放射する線路状電極、線路状電極からみて被解凍物とは反対側に配置されたグランド電極を備える。線路状電極は、スパイラル形状を有する。高周波を放射する電極が線路状で、スパイラル形状なので、波長の長い高周波を用いても、線路状電極を小型化できる。解凍機は、複数の高周波放射源を備えた解凍機であってもよい。複数の高周波放射源は、それぞれ、被解凍物へ高周波を放射する線路状電極と、線路状電極からみて、被解凍物とは反対側に配置されたグランド電極を備えられる。

関連分野

農林水産、飲食、電気機械、エネルギー、医療・保健衛生